

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	早期療育専門ぱちぱち		公表日		2024年 11月 29日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		療育室には物を置かないようにすることで広く十分なスペースを確保、安全に過ごせる環境を整えている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		常時基準人員以上の配置を行うことで、休憩や送迎で抜けている間も不足しない体制を整えている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		子どもたちの身边には視覚支援を随所に取り入れ、特性に配慮した構造化を図っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日清掃の時間を設け、チェックリストを使って清掃や整理整頓及び消毒等を行い清潔と安全を保っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		集団の部屋とは別に、個室、静養室、相談室があるため必要に応じて使用できる環境を整えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎日ミーティングを実施し、各自の目標設定や振り返り (PDCAサイクル) を行っている。職員間でコミュニケーションをとる機会が多い。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		評価結果を全職員で確認し、把握した不足については期限を決めて改善に取り組んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎日のミーティング (朝礼、終礼) に加え、全体研修、月礼、職員面談を定期的実施し、職員の意見等の把握を行い、業務改善が	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		第三者評価は現状実施していないが、店舗数拡大後には必要に応じて検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		定期的に土曜日に全職員にて研修を実施している。年間スケジュールを作成し、外部研修にも参加の機会を設けている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		全職員で話し合いを重ね事業所独自のプログラムを作成している。5領域の各分野ごとに、ねらいを定めた療育プログラムを作成している。(公表は今年度中に行う。)	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者からの聞き取りも含め複数職員でアセスメントを実施・共有している。5領域を踏まえたアセスメントを行い、支援計画に反映している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		支援員全員で全児童分の事業所独自のモニタリング・アセスメントシートを記入し、児童発達支援管理責任者をそのシートを集約・共有し、共通認識のもとで計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		作成した計画は適宜共有し、いつでも閲覧できるようにしている。支援計画を念頭に入れ、統一した支援の実施を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		フォーマルなアセスメントだけでなく、日常の中での気づきや行動観察もその日のうちに記録・共有している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインに則り、5領域や進学を見据えて作成している。本人支援と家族支援が中心ではあるが、就園や小学校進学を控えている児童に関しては進路選択も含めた支援目標を設定している。他事業所との連携は必要に応じて行っているが、計画には反映されていないため今後は積極的に計画に盛り込んでいきたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		集団プログラムを行うチーム、個別プログラムを行うチームに分かれて立案し、それぞれリーダーが集約を行っている。集団と個別が連携されるようなシステムを構築している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		既存のプログラムはもちろん、独自のプログラムも日々考案し、集団プログラムシートに記載する時間を設けている。オリジナリティを追求しつつ、シートを見れば誰でも出来るようにシステム化している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		事業所の強みとして集団と個別の両アプローチを計画的に行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		プログラムについて、リーダーを中心にねらいや役割、準備物など事前に話し合い、1週間前には次週の1週間分の準備は完了している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼を行い、その日のうちに大切なことは上司に報告する機会を設けている。また、朝礼において全職員より気付きや振り返りを行っている。朝礼ノートに議事録を記載し不参加の職員にも即共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用児童全員の活動記録をその日のうちに記載し共有している。活動内容に加え、その子の課題に対する支援の検証を記載している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度モニタリングの機会を設けている。支援員全員の意見や気づきを集約し、計画（目標）の継続や変更を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		事業所内面談、担当者会議、モニタリング用紙の記入、電話聞き取りなど全てにおいて子どもの状況をよく理解した者が参画し、共有している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医療機関との連携は今のところ必要性が生じていないが、今後必要に応じて行っていく。地域の園や他の児童発達支援事業所と連携して子どもが混乱しないように統一した支援ができるように連携に努めている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		他の事業所や進学先となる小学校、支援学校と連携を図っている。地域の小学校が支援学校が悩まれている方が多いためそれぞれ見学などで情報を収集している。進路先には子どもの事業所での様子を見学してもらえようように案内している。支援内容の共有を行い、子どもが混乱しないよう統一した支援を心がけている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		進学先に悩まれている方が多いためそれぞれ見学などで情報を収集している。進路先には事業所での様子を見学してもらえようように案内している。支援内容の共有を行い、子どもが混乱しないよう相互理解を心がけている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターレビラに見学に行かされたいたり、レビラ主催の研修に参加したりしている。並行通園の児童もいるため、相談員さんと密に連携をとり、必要な助言を受ける機会も設けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		送迎時に情報共有は適宜行っている。	地域の中での活動機会は設けていないため、今後必要に応じて検討していく。その際はプライベートに配慮が必要。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		利用日には活動記録を発信し共通理解を図っている。より子どもの様子が伝わるように写真を最大4枚添付している。保護者からもご家庭での様子や困り事を共有してもらいやすい関係を構築している。共有してもらった内	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		活動記録(連絡帳)や日々の連絡の中でご家庭でも協力してもらいたいことをお伝えさせてもらっている。	ペアレントトレーニング及び情報提供として研修等の機会を来年度は計画していきたい。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に書類を提示して説明を行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画に反映させるために、意向やご家庭での困り事などの聞き取りを行っている。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		目標及び具体的な支援内容を提示し、ご意見等を踏まえ同意・サインを得ている。		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日々の連絡の中や連絡帳及び送迎時などいつでも相談しやすい関係づくりを意識している。寄せられた相談については迅速に職員間	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		ご希望を聞き（プライバシー配慮も含め）開催を検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		組織的かつ迅速に対応できるように連絡システムの体制を整えている。希望があれば見学可能な旨周知している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎日ブログの投稿を行い、活動概要や子どもの様子、事業所の思いについて発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		外部の方の訪問があった際は必ず外で対応するように徹底している。見学の訪問について事前予約制をとりプライバシーに配慮している。個人情報は書庫に保管の上常時施錠し、鍵は限定された者のみが所有している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		契約書類はただただ読み上げるのではなく、分かりやすく噛み砕きながら重要な部分が伝わるように説明している。口頭のみでなく文書でお伝えするように心がけている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		プライバシーの観点から検討が必要。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		今年度中に実施予定。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		今月中に実施予定。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認している。ダイアップ等必要な薬は医師の投薬指示書及び保護者の同意書と共にお預かり、管理している。熱性痙攣やてんかん持ちの児童については発熱時に痙攣の有無など病状を聞くようにしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現状アレルギーは卵のみのため、卵を使用したおやつや食育を提供しない、食事の際は机を分ける対応で保護者の同意を得ている。そのため医師の指示書は受けていないが今後必要性が出た場合は指示書の提出を求める。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		今年度中に実施予定。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		取組内容については契約時にお伝えしている。今後研修が済み次第家族へ周知する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		療育中であっても速やかに全体で共有し、再発防止策を話し合っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修の実施及びセルフチェックとその共有を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		現状身体拘束を行う必要性がないため事例がないが、必要性が出た場合は組織的に決定し、保護者への説明と個別支援計画への反映		